

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局	
	19013	井田川小学校校舎増築・給食室改修事業	課名	教育総務課 施設・保健給食G	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長		款	10:教育費
	施策の方向	02:学びの環境の充実		項	02:小学校費
戦略プロジェクト	-	目		01:学校管理費	
事業予定期間	R 1 ~ R 2 年度	主な根拠法令要綱等			

目的・概要	対象	井田川小学校の児童
	目的	井田川小学校区では宅地開発の進行により、今後、井田川小学校の児童数増加が見込まれている。これに伴い想定される「校舎の教室不足」や、「給食室のスペース不足」等に備えることで、今後も引き続き子どもたちが安全で快適な学校生活を送ることができる環境を整備する。また、併せて給食室が抱える老朽化等の諸課題を解消する。
概要	概要	既存のプール付属室がある場所に生活科室及び会議室を増築し、増築校舎の下の階にプール付属室を設ける。(既存の生活科室と会議室を教室として転用)給食室は、食器食缶洗浄機置場やワゴンプールを拡張するとともに、調理員用トイレを増築する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	校舎増築 ・設計 ・地質調査 ・用地測量 給食室改修 ・ワゴンプール拡張(設計) ・調理員用トイレ増築(設計) ・食器食缶洗浄機置場拡張(工事)	校舎増築 ・工事 給食室改修 ・ワゴンプール拡張(工事) ・調理員用トイレ増築(工事)		
	年度実績	○校舎増築 ・設計 ・地質調査 ・用地測量 ○給食室改修 ・ワゴンプール拡張(設計) ・調理員用トイレ増築(設計) ・食器食缶洗浄機置場拡張(工事)	○校舎増築 ・増築工事完了 ○給食室改修 ・改修工事(ワゴンプール拡張、調理員用トイレ増築)完了		
事業費	計画額	事業費	41,700千円	249,000千円	
		国庫支出金		10,900千円	
		県支出金			
		地方債		9,800千円	
		その他			
	一般財源	41,700千円	228,300千円	0千円	
	予算額	事業費	21,560千円	222,160千円	
		国庫支出金		18,083千円	
		県支出金			
		地方債		16,100千円	
		その他			
	一般財源	21,560千円	187,977千円	0千円	
	決算額	事業費	21,034千円	218,839千円	
		国庫支出金		18,129千円	
		県支出金			
地方債			16,100千円		
その他					
一般財源	21,034千円	184,610千円	0千円		
人件費	総人件費	3,925千円	3,920千円	0千円	
	一般職員	3,925千円	3,920千円	0千円	
	所要人員	0.50	0.50		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		24,959千円	222,759千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称 校舎増築	活動	計画値	設計	工事
			実績値	設計	工事
			単位		
	名称 給食室改修(ワゴンプール拡張・調理員用トイレ増築)	活動	計画値	設計	工事
			実績値	設計	工事
			単位		
	名称 給食室改修(洗浄機置場拡張)	活動	計画値	工事	
			実績値	工事	
			単位		

事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 児童の安全を確保するため、工事車両のグラウンドへの乗り入れに際し、警備員の配置や乗り入れ時間の把握などを行う必要がある。また、給食室の改修工事については、衛生上支障のないよう施工する必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 工事車両のグラウンドへの乗り入れに際し、警備員の配置や児童の通行時間と車両の乗り入れ時間の把握により、児童の安全を確保した。給食室の改修については、作業日程の打ち合わせを行うなど衛生上支障がでないよう配慮した。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 校舎の増築、及び給食室の改修(ワゴンプール拡張・調理員用トイレ増築・食器食缶洗浄機置場拡張)について、計画どおり年度内に完了することができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 設計図書に基づき計画通り年度内に完了し、校舎の教室不足や給食室のスペース不足・老朽化に対応でき、子どもたちが安全で快適な学校生活を送ることができる環境を整備できた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 学校施設の老朽化が進んでいることから更新や改修については、耐用年数を延ばすことを前提とした長寿命化や更新の計画作成が必要である。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 令和2年度で事業完了
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 更新や改修をするにあたり、施設の長寿命化計画を策定し、予防保全型管理を進めることで耐用年数を延ばすことを前提とした長寿命化や更新・改修を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 安全で快適な学校生活を送ることができる環境の整備ができる。	
対応時期		-	

【1次評価者】	教育委員会事務局 教育総務課 教育総務グループリーダー 中野 貴晶
【最終評価者】	教育委員会事務局 教育総務課長 岡安 賢二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	A	A	
	成果	/	/	A	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		222,160 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	222,160 千円
	令和3年度への繰越額	千円